

九州国立博物館「大宰府学研究」事業
特別史跡「大野城跡」史跡指定90年記念シンポジウム

金光明家勝王經四天王護國圖卷第十二
今時世尊開四天王恭敬供養金光明經及
兼擁護諸持經者諸言善哉善哉等四王
已於過去無量百千萬億佛所恭敬供養專
重讚歎植諸善根修行正法常說正法以法
化世汝等長夜於諸衆生常思利益起大慈
心願與安樂以是因緣能令汝等現受勝緣
若有人王恭敬供養此金光明家勝王經及餘
等應當勤加守護令得安隱汝諸四王及餘
眷屬無量無數百千藥叉護生經者即是護
持去來現在諸佛正法汝等王及餘天衆
并諸藥叉與何等
等若能護持
飢饉及諸疾
汝等若見四衆受持
請此經王者亦應勤心共加守護為除衰惱
施與安樂



於未來世若有國土城邑聚落山林曠野隨
所至處流布之時若彼國王於此經典至心聽
受攝養供養并復供給受持是經四部之
衆深心擁護令離衰惱以是因緣我護彼王
及諸人衆皆令安隱速離憂苦增益壽命咸
德具之世尊若彼國王見於四衆受持經者
恭敬守護猶如父母一切所須悉皆供給我
等四王常為守護令諸有情無不尊敬是故
我等并與無量藥叉諸神隨此經王所流布

大宰府

四王院

「西の都」に築かれた鎮護国家思想の寺



日時

令和4年9月3日(土)
(2022)
13:00~16:45 (12:30受付開始)

会場

九州国立博物館
1階 ミュージアムホール

主催/九州国立博物館、福岡県



九州国立博物館

[太宰府天満宮横]

〒818-0118 福岡県太宰府市石坂4-7-2
www.kyuhaku.jp

NTTハローダイヤル 050-5542-8600 (午前9時~午後8時/年中無休)

(写真上)紫紙金字光明最勝王經(卷第六・四天王護國品(国分寺経))【国宝】奈良国立博物館所蔵・
写真提供 佐々木香輔氏撮影 (写真下)伝四王寺山出土 銅製経筒(九州国立博物館所蔵)
(印影)【重文】銅印「四王寺印」(原品は京都国立博物館所蔵)



大宰府四王院

「西の都」に築かれた鎮護国家思想の寺



大宰府政庁の背後にそびえる四王寺山には、665年に築かれた古代山城として名高い特別史跡「大野城跡」があり、古代大宰府を軍事的に防衛していました。その実態については、福岡県教育委員会及び九州歴史資料館、太宰府市教育委員会による長年の発掘調査によって、朝鮮式山城としての構造など、その一端が明らかとなっています。

大野城跡は奈良～平安時代以降、徐々に軍事的役割を弱める一方で、それにとって代わるように鎮護国家思想によって四王院（四天王寺）が創建されます。さらにその後も四王寺山には、原山無量寺などの寺院、岩屋城などの中世山城などが置かれ、中世に至っても大宰府の中で、その重要な位置づけは変わりませんでした。

九州国立博物館では大宰府学研究事業として、これまで古代山城・大野城跡に焦点を当てたシンポジウムや研究発表を行ってきました。さらに今後は、古代以降の大宰府の展開を見据え、四王寺山に所在した四王院や岩屋城なども取り上げていくこととしたいと考えております。

本シンポジウムでは、大野城が置かれていた時にも既に創建され、大宰府のみならず日本列島規模においても重要な位置を占めた四王院について、その解明の光を当てます。

◎日時 令和4年(2022)9月3日(土)

13:00～16:45 (12:30受付開始)

◎会場 九州国立博物館1階ミュージアムホール

福岡県太宰府市石坂4-7-2 (太宰府天満宮横)

◎主催 九州国立博物館、福岡県

◎定員 270名 (参加費無料、事前申し込み不要〈当日先着順〉)

◎参加費 無料

◎プログラム

12:30～13:00 開場・受付

13:00～13:10 開会挨拶

13:10～14:00 基調講演「日本古代の境界意識と四天王信仰」

三上喜孝 (国立歴史民俗博物館教授)

14:00～14:30 研究発表「筑紫大野城と大宰府四天王寺」

松川博一 (九州歴史資料館)

14:30～14:40 休憩

14:40～15:10 研究発表「古代四天王信仰の成立と変容

—八・九世紀の彫刻作例を主題として—

近藤謙 (元亀岡市文化資料館)

15:10～15:40 研究発表「四王院跡と四王寺山経塚群」

岡寺良 (九州国立博物館)

15:40～15:50 休憩

15:50～16:40 パネルディスカッション

16:40～16:45 閉会

◎講師紹介

三上喜孝 (みかみよしたか)

国立歴史民俗博物館教授

〈プロフィール〉

1969年東京生まれ、1992年東京大学文学部卒業、1998年同大学院人文社会系研究科博士課程修了、博士(文学)、山形県立米沢女子短期大学講師、山形大学准教授を経て、現在、国立歴史民俗博物館教授、専門は日本古代史。

業績には、『日本古代の貨幣と社会』(吉川弘文館、2005年)、『Jr.日本の歴史(2) 都と地方のくらし 奈良時代から平安時代』(共著、小学館、2010年)、『日本古代の文字と地方社会』(吉川弘文館、2013年)、『落書きに歴史をよむ』(吉川弘文館、2014年)、『天皇はなぜ紙幣に描かれないのか』(小学館、2018年)がある。



松川博一

(まつかわひろかず)

九州歴史資料館学芸調査室長



近藤謙

(こんどうゆずる)

元亀岡市文化資料館学芸員



岡寺良

(おかでらりょう)

九州国立博物館主任研究員

■最寄り駅/西鉄太宰府駅から徒歩約10分

■最寄り駅へのアクセス

西鉄福岡(天神)駅から西鉄大牟田線(特急・急行約15分)で西鉄二日市駅乗り換え、西鉄太宰府線で約5分。

JR博多駅から太宰府ライナーバス「旅人」にて約40分。博多バスターミナル(1階11番のりば)乗車、終点の西鉄太宰府駅下車

※ご来館の際は、公共交通機関をご利用ください。 ※駐車場(有料)には限りがございます。予めご了承ください。

◎マスク着用の上ご入館ください。 ◎37.5℃以上の発熱また風邪などの症状がある場合はご入館いただけません。

◎新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、イベントの予定や内容に変更が生じる場合は当館ホームページ等を通じて随時お知らせいたします。

